

子ども・若者の意見を聞く機会アンケート 調査結果報告書（抜粋版）

- ◆子どもが意見を表明する権利の認知度については、「聞いたことがあり、内容も知っている」と「聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた“聞いたことがある方”は、中学生が 54.2%と最も多くなっています。【P 3】
- ◆国や県、自治体に意見を直接伝えたいと思うかの設問で、「そう思う」、「ややそう思う」の合計をみると、18～39 歳で 41.7%と他と年代と比べて最も多くなっています。【P 5】
- ◆意見を直接伝えたいと思う理由について、「伝えなければ相手がわからないと思うから」が全ての年代で最も多く、「重要または貴重な意見だから」や「意見を伝えれば反映されると思うから」は年代が上がるほど多くなっています。【P 6】
- ◆意見を直接伝えたいと思わない理由について、中学生、高校生では、「何をしているのかわからないから」が最も多く、18～39 歳では、「意見を伝えても反映されないと思うから」が最も多くなっています。【P 7】
- ◆意見を伝えやすい年代や関係について、中学生、高校生では、「同年代」、「知り合い、知っている人」が最も多く、18～39 歳では、年代、関係ともに、「こだわりはない」が最も多くなっています。【P 8】
- ◆意見を伝えやすい方法や手段について、全ての年代で「Web アンケートに答える」が最も多く、次いで、中学生では「学校の活動のなかでの機会」、高校生や 18～39 歳では「SNS」が多くなっています。【P 9】
- ◆意見を伝えやすくするための工夫では、全ての年代で「自分の顔や名前を明かさずに参加できる」が 4 割を超え、18～39 歳では、「伝えた意見がどのように扱われるのかわかる」が 5 割を超えています。【P 10】
- ◆草津市の若者の施策に望むこと（18～39 歳のみ）の設問では、「安心して出産・子育てのできる環境づくり」が最も多く、次いで、「学校教育を充実する」、「若者が結婚しやすい環境をつくる」が多くなっています。【P 11】

I. 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、こども施策を推進していく中で、子どもや若者から意見をしっかりと聴く仕組みを作るために、どのような手法が適しているか、どのような工夫が必要になるのか等を検討するための基礎資料とすることを目的に実施したものです。

2. 調査概要

	対象者	調査方法	調査期間
中学生	市内の中学校に通う中学 1 年生 1,218 人	Web 調査	令和 6 年 3 月 7 日（木）～ 令和 6 年 3 月 21 日（木）
高校生	市内の高校に通う高校 1 年生 1,712 人	Web 調査（希望者には学校 での調査票配布・回収）	令和 6 年 3 月 12 日（火）～ 令和 6 年 3 月 27 日（水）
18～39 歳	市内の 18～39 歳の若者 1,400 人	郵送配布・郵送回収および Web 調査	令和 6 年 3 月 12 日（火）～ 令和 6 年 3 月 27 日（水）

3. 回収結果

	調査対象者数 （配布数）	有効回収数	有効回収率
中学生	1,218 件	297 件	24.4%
高校生	1,712 件	1,092 件	63.8%
18～39 歳	1,400 件	326 件	23.3%

4. 主な設問項目

(中学生、高校生、18～39 歳に共通する設問項目から)

・子どもが意見を表明する権利の認知度	…	3 頁
・住んでいる自治体の制度や政策に関する情報の入手方法	…	4 頁
・国や県、住んでいる自治体の制度や政策への意見表明の意思とその理由	…	5 頁
・意見を伝えやすい相手	…	8 頁
・国や県、住んでいる自治体に対して意見を伝えやすい方法や手段	…	9 頁
・国や県、住んでいる自治体に対して意見を伝えやすくなる工夫やルール	…	10 頁

(18～39 歳のみの設問項目から)

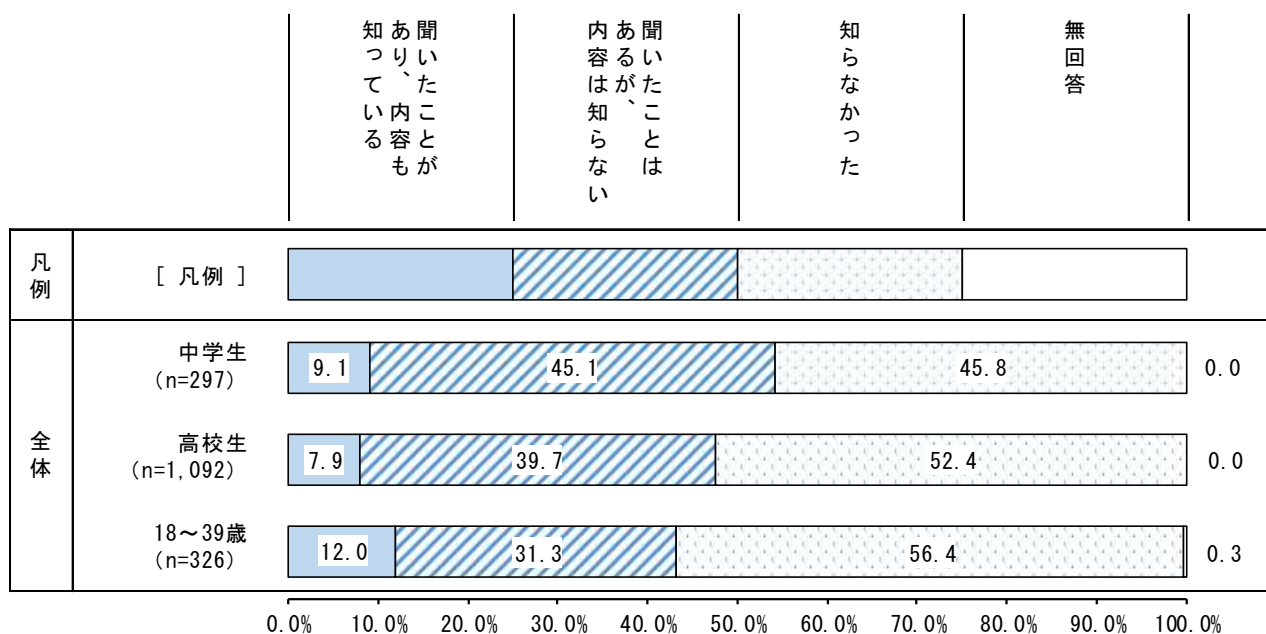
・草津市が取り組む若者の施策にどんなことを望むこと	…	11 頁
・結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるためによいと思えるサポート	…	12 頁

Ⅱ. 調査結果（抜粋）

（１）あなたは、子どもが意見を表明する権利について知っていますか。（１つえらぶ）

- 中学生、高校生、18～39歳すべてで「知らなかった」が最も多くなっています。
- 「聞いたことがあり、内容も知っている」は18～39歳が12.0%と他の年代と比べて最も多くなっています。
- 「聞いたことがあり、内容も知っている」と「聞いたことはあるが、内容は知らない」を合わせた“聞いたことがある方”は、中学生が54.2%と最も多くなっています。

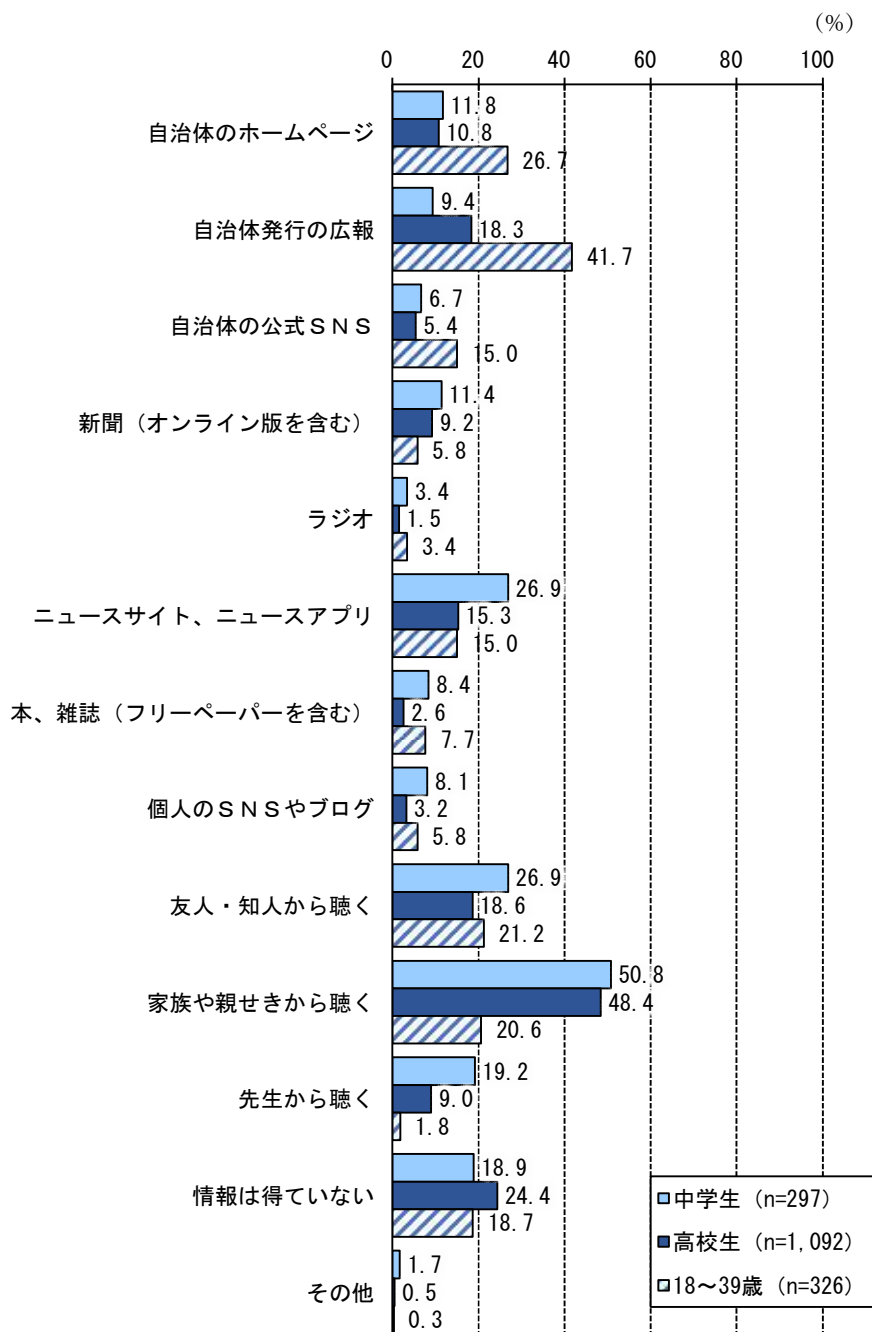
【子どもが意見を表明する権利の認知度】



(2) あなたは、あなたの住んでいる自治体（市町村）の制度や政策について、どのように情報を得ていますか。主なものを選んでください。（3つまで）

- 中学生、高校生では「家族や親せきから聴く」が最も多く、18～39 歳では「自治体発行の広報」が最も多くなっています。
- 「ニュースサイト、ニュースアプリ」は中学生が 26.9%と、他の年代に比べて多くなっています。

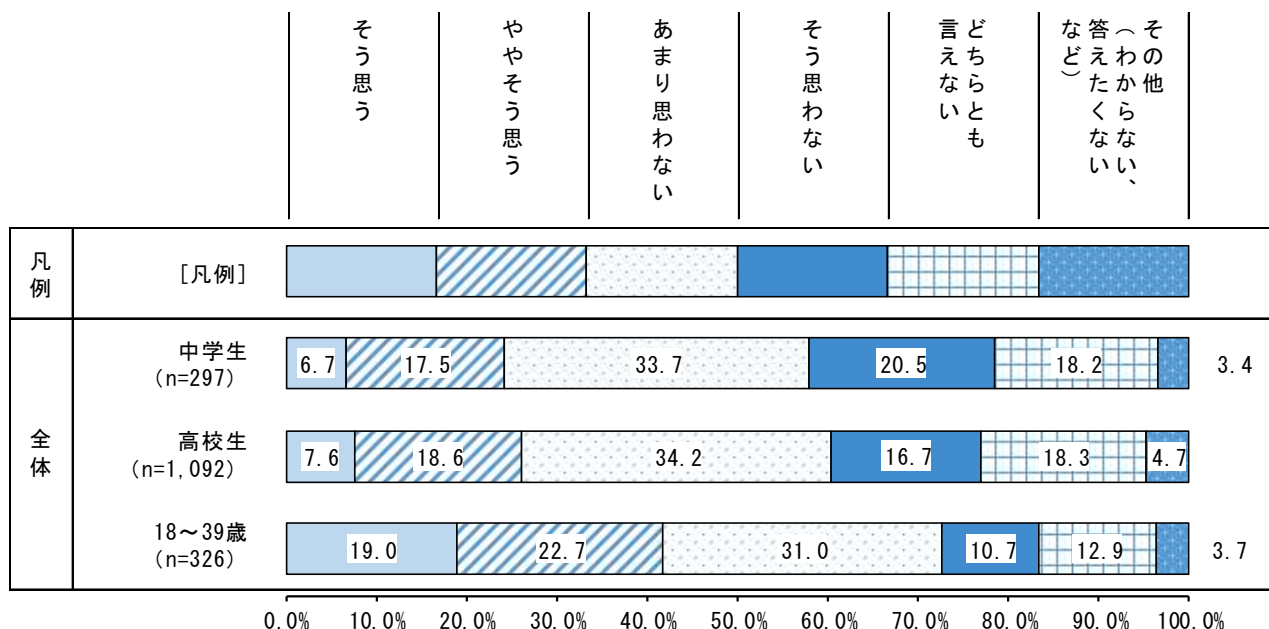
【自治体の制度や政策の情報をどのように得ているか】



(3) あなたは、国や県、あなたの住んでいる自治体（市町村）の制度や政策について
思ったことや意見を、直接伝えたいと思いますか。（1つえらぶ）

- 「そう思う」は18～39歳が19.0%と他の年代に比べて多くなっています。
- 「そう思わない」は中学生が20.5%、高校生が16.7%と、18～39歳（10.7%）に比べて多くなっています。

【意見を直接伝えたいと思うか】

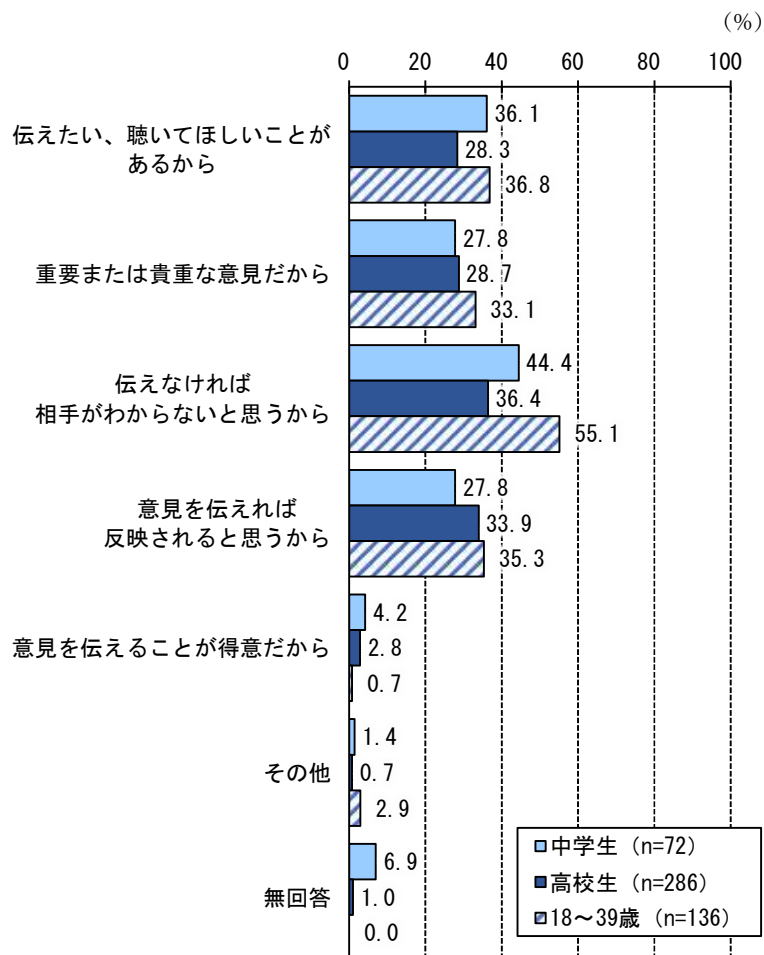


★（３）で、「１」または「２」を選択した方のみ

（４）そう答えたのはどうしてですか。（あてはまるものすべて）

- 全ての年代で、「伝えなければ相手がわからないと思うから」が最も多くなっています。
- 「重要または貴重な意見だから」、「意見を伝えれば反映されると思うから」は、年代が上がるほど多くなっています。

【意見を直接伝えたいと思う理由】

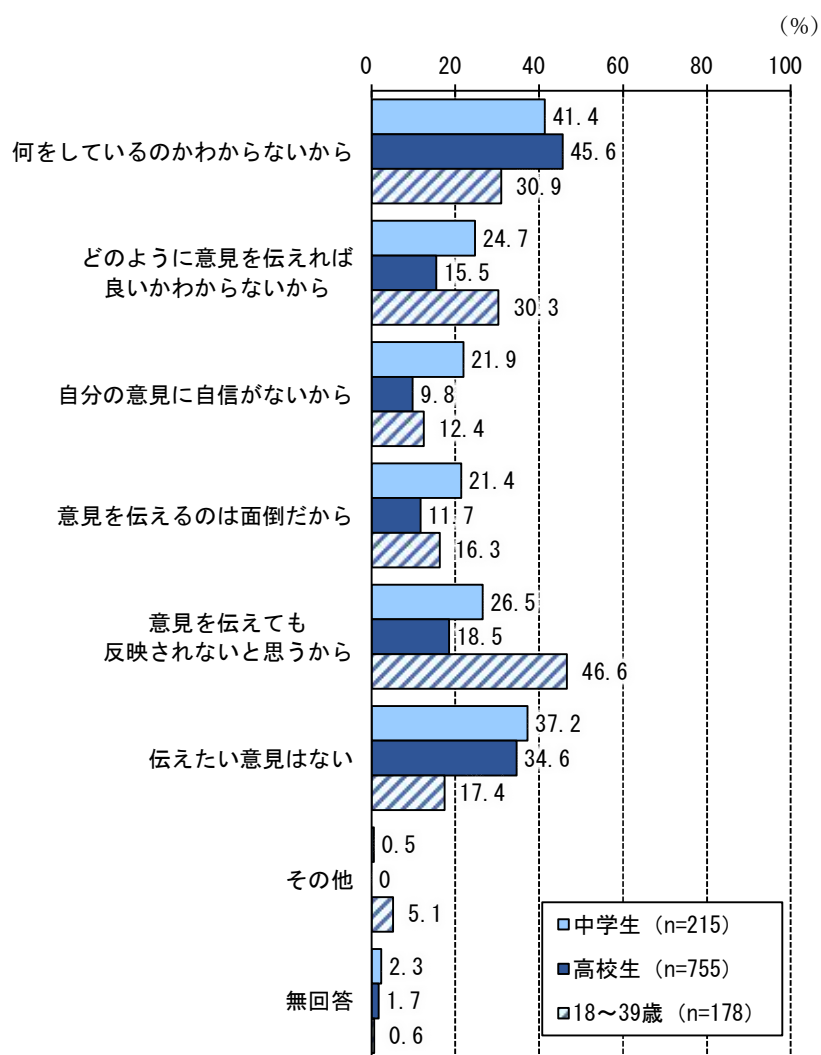


★（４）で、「３」～「５」を選択した方のみ

（５）そう答えたのはどうしてですか。（あてはまるものすべて）

- 中学生、高校生では「何をしているのかわからないから」が最も多く、次いで「伝えたい意見はない」、「意見を伝えても反映されないと思うから」となっています。
- 18～39 歳では「意見を伝えても反映されないと思うから」が最も多く、次いで「何をしているのかわからないから」、「どのように意見をつたえれば良いかわからないから」となっています。

【意見を直接伝えたいと思わない理由】

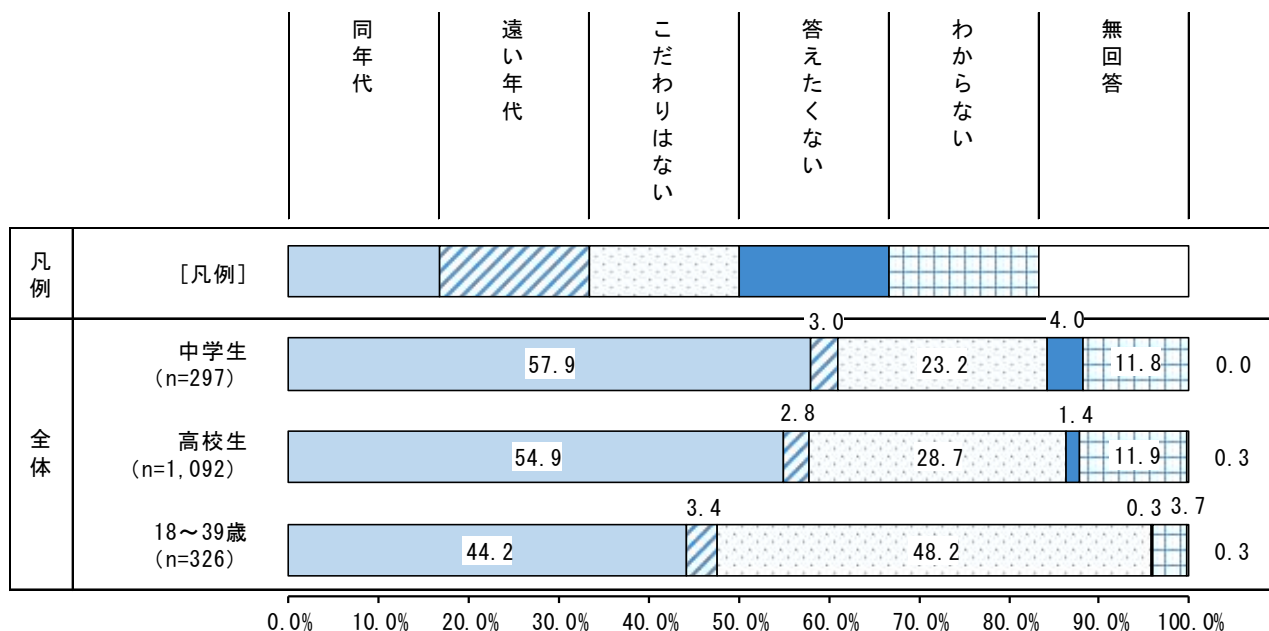


(6) あなたは、どのような相手であれば、あなたの意見を伝えやすいですか。

(それぞれ、あてはまるものを1つえらぶ)

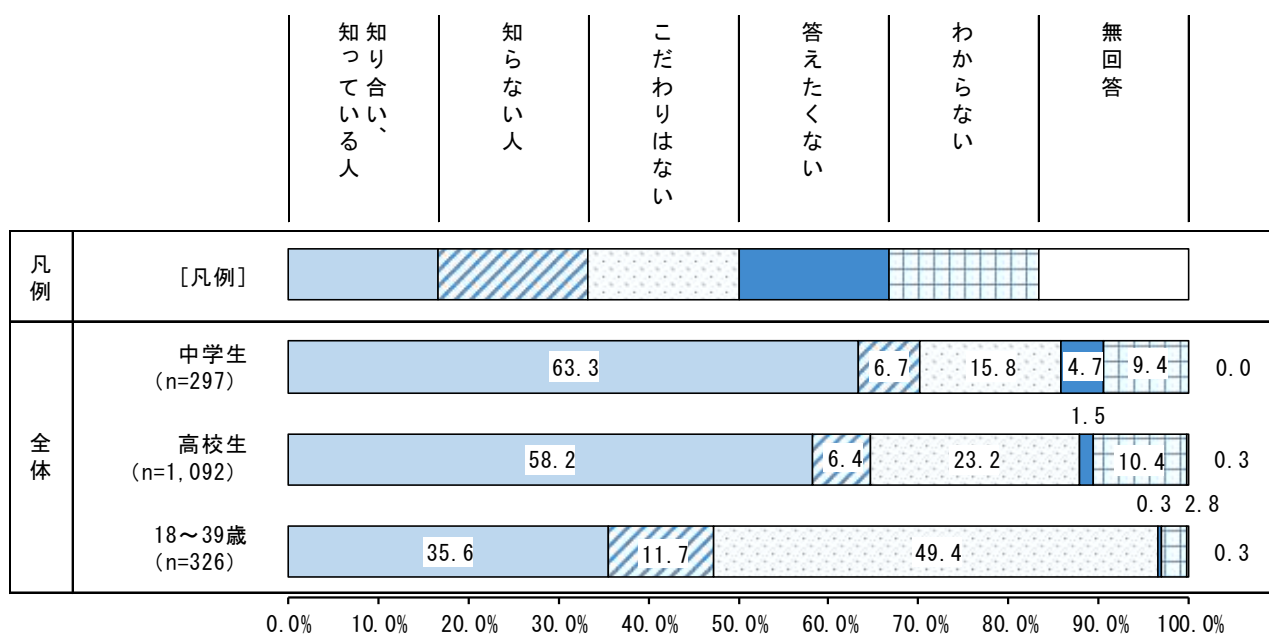
- 中学生、高校生では「同年代」が半数以上を占めています。
- 18～39歳では「こだわりのない」が48.2%と最も多くなっていますが、「同年代」も44.2%と多くなっています。

【意見を伝えやすい年代】



- 中学生、高校生では「知り合い、知っている人」が約6割を占めています。
- 18～39歳では「知り合い、知っている人」は35.6%と他の年代に比べて少なく、「知らない人」が11.7%と他の年代に比べて多くなっています。

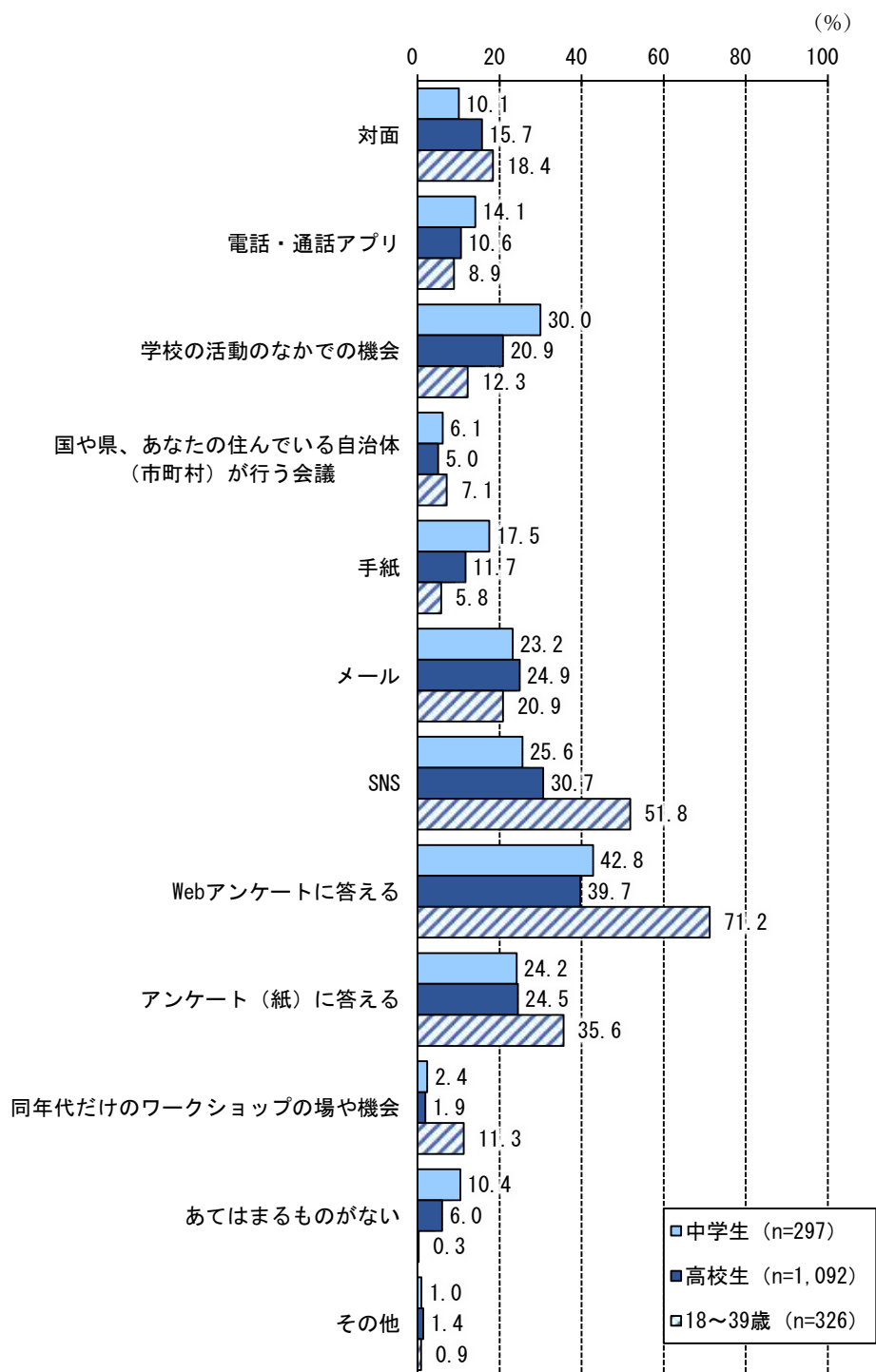
【意見を伝えやすい関係】



(7) どのような方法や手段があれば、あなたは国や県、あなたの住んでいる自治体（市町村）に対して意見を伝えやすいですか。（あてはまるものすべて）

- 中学生では「Web アンケートに答える」が 42.8%で最も多く、次いで「学校の活動のなかでの機会」が 30.0%、「SNS」が 25.6%となっています。
- 高校生では「Web アンケートに答える」が 39.7%で最も多く、次いで「SNS」が 30.7%、「メール」が 24.9%となっています。
- 18～39 歳では「Web アンケートに答える」が 71.2%で最も多く、次いで「SNS」が 51.8%、「アンケート（紙）に答える」が 35.6%となっています。

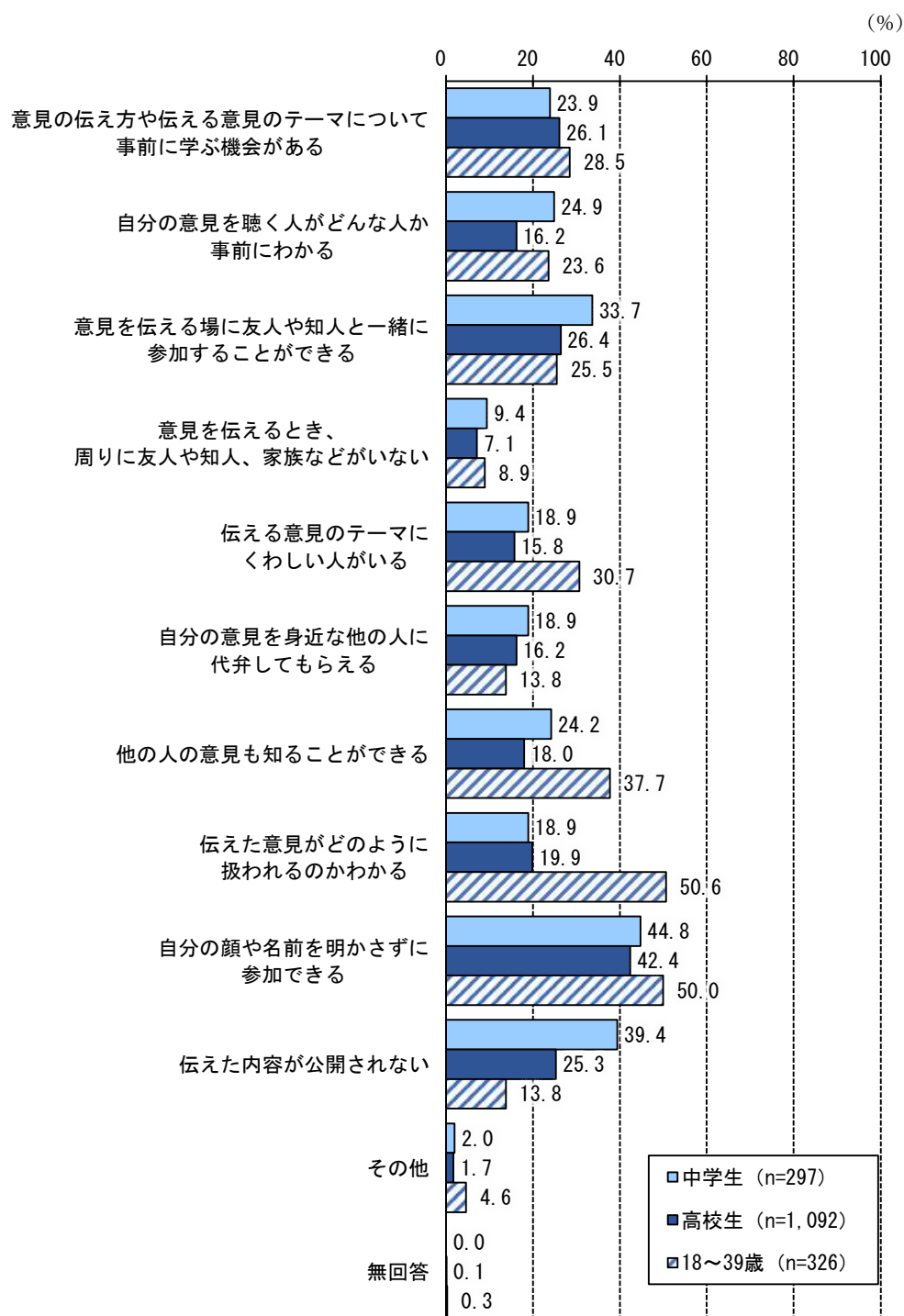
【意見を伝えやすい方法や手段】



(8) どのような工夫やルールがあれば、あなたは国や県、あなたの住んでいる自治体(市町村)に対して意見を伝えやすいと思いますか。(あてはまるものすべて)

- 中学生では「意見を伝える場に友人や知人と一緒に参加することができる」、「伝えた内容が公開されない」が他の年代に比べて5ポイント以上多くなっています。
- 18～39歳では「伝える意見のテーマに詳しい人がいる」、「他の人の意見も知ることができる」、「伝えた意見がどのように扱われるのかわかる」が他の年代に比べて10ポイント以上多くなっています。
- 全ての年代で、「自分の顔や名前を明かさずに参加できる」が4割を超えています。

【意見を伝えやすくするための工夫】



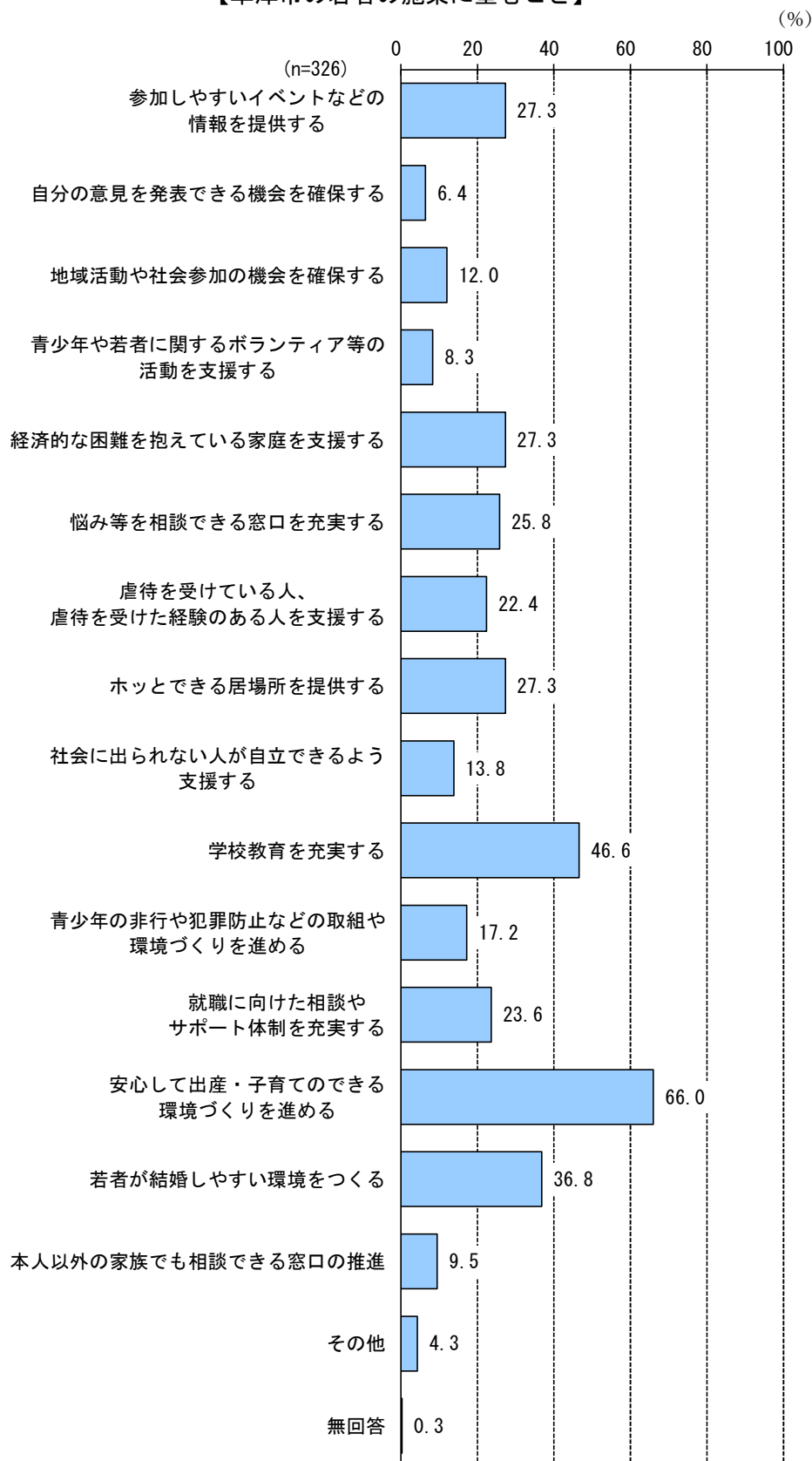
(9) あなたは、草津市が取り組む若者の施策にどんなことを望みますか。

(あてはまる番号5つまで○) (18～39歳のみ)

【全体】

- 草津市の若者の施策に望むことについて、「安心して出産・子育てのできる環境づくりを進める」が 66.0%で最も多く、次いで「学校教育を充実する」が 46.6%、「若者が結婚しやすい環境をつくる」が 36.8%となっています。

【草津市の若者の施策に望むこと】



(10) 結婚や出産、子育てしやすいと思える環境をつくるには、どのようなサポートがあればよいと考えますか。(あてはまる番号5つまで○) (18～39歳のみ)

【全体】

- 結婚や出産、子育てしやすいと思える環境のためにあればよいサポートについて、「結婚や出産、育児に対する資金貸与や補助支援」が 51.8%で最も多く、次いで「夫婦ともに働き続けられるような職場環境の充実」が 39.9%、「妊娠・出産時の経済的負担の軽減」が 37.1%となっています。

【結婚や出産、子育てしやすいと思える環境のためにあればよいサポート】

